

静岡松涛タイムス 第58号

発行元：静岡県本部広報部 責任者：滝田宏平

連絡先：0537-36-1238(TEL) 0537-36-1293(FAX)

E-mail：kouheichan@tiara.ocn.ne.jp

URL：http://www.shizuoka-karate.com/ (公式 HP)

http://www4.tokai.or.jp/sougou/ (広報部)

Photo：菖蒲

平成 24 年度静岡県本部総会



平成 24 年 5 月 6 日、静岡市のクーポール会館において、平成 24 年度の静岡県本部通常総会が開催されました。稲毛隆本部長の議長により議事が進められ、事業報告、決算報告、事業計画案、収支予算案の全ての議案が全会一致で承認されました。事業報告では、平成 23 年度県本部主催の昇段審査において、初段 117 名、弐段 8 名が合格、また、11 月の東海北信越地区資格審査会においては、本県からの講習会参加者が 101 名、資格審査において 7 名が合格したことなどを報告しました。合格者の皆さんおめでとうございます。今後、更なるご精進を期待いたします。そして、各支部において会員の拡大や、技術の向上にご尽力をいただきますようお願いいたします。また、2 月に開催された東海北信越地区理事会において、稲毛本部長が東海北信越地区協議会の会長に選出されたことを報告しました。今後のご活躍をお祈りするとともに、本県の皆様のご支援をお願いいたします。そのほか、車イス空手の指導体制強化についての要望や相談役会のあり方などの意見が出され、今後常任理事会において協議することになりました。総会終了後の懇親会では各道場間の情報交換など空手談議に花が咲き、和気あいあいの内に決意も新たに本年度のスタートを切ることができました。本年度も静岡県本部の発展と皆様のご活躍を祈っております。(事務局長 大井久生)

第 13 回 JKS 静岡県空手道選手権大会



東海大会・全国大会といった上級大会への出場選考会を兼ねた「第 13 回 JKS 静岡県空手道選手権大会」が、初夏の訪れを感じさせた 5 月 27 日(日)に静岡市北部体育館にて盛大に開催されました。出場選手の技術はもちろん、選手の気迫も回を重ねるごとに向上し、今年も素晴らしい大会となりました。今回、怪我により惜しくも大会出場を断念、自らの強い希望で、コート係として試合をサポートしてくれた選手よりレポートが届きましたので、本誌面にて紹介させていただきます。

私は今回の大会の出場を断念しました。なぜなら、怪我をしてしまい練習不足でまだ動ける状態ではなかったからです。しかしコート係をお手伝いする事によって大会に参加させていただきました。コート係は、普段の大会ではご父兄の方がやってくれています。選手であるときは、試合に集中するあまり自分のことしか考えられなくなり、「コート係さんって大変だなあ」と感じていましたが、深く考えたことはありませんでした。しかし今回、お手伝いして初めてわかりました。コート係の手際の良い進行とスタッフの協力のおかげで試合は順調に進み、コート係りの大切さを実感する事ができました。支部の仲間の試合は、コート係からの目線で応援をしました。みんな自分の試合が終わったら各道場の仲間の応援に走って行き、ご父兄さん達もスタンド席で応援してくれていて、あらためて応援してくれることが選手の活力源となり頑張れるんだ、という事を感じました。今回、残念ながら試合には出場できませんでしたが、コート係という普段とは違う角度から大会を観る事ができて良かったと思えました。次は夏の全国大会に向けて早く怪我を治して、万全の態勢で臨みたいと思います。【レポート：田辺 果菜(安倍川支部)】

平成 24 年度 6 月期昇段審査会合格者

少年初段	鈴木 美羽(島 田)	杉本 紗也(川 根)	田畑 滉太(焼将陽)	杉浦 由那(島 田)	大塚 凜子(大 里)
前田 紗良(川 根)	松田 龍明(駿 河)	野谷 和生(焼将陽)	市川 竜樹(御殿場)	山口 歩華(焼将陽)	向山 立(焼将陽)
小林 亮太(岡 部)	山下 慧(静 岡)	秋山さくら(精誠館)	風間 恵美(精誠館)	秋山さやか(精誠館)	坪井 翔(清水南)
一般初段	鈴木 真希(精誠館)	西瀬戸 昇(島 田)	勝治 慶(焼将陽)	久保田昌嗣(焼将陽)	
少年弐段	三森 和磨(精誠館)				

〔実施日〕平成 24 年 6 月 10 日(日)〔会場〕静岡市北部体育館 受審者 31 名 合格者 22 名

第 31 回全国高等学校空手道選抜大会■

年度末を控えた 3 月 26 日～28 日に、岡山県総合運動場桃太郎アリーナにて「第 31 回全国高等学校空手道選抜大会」が開催されました。本大会は夏のインターハイと並び高体連空手部のトップに君臨する大会で、各県の上位入賞者及び上位入賞チームが地区の予選に進み、形・組手共に個人男女各 3 名、団体男子 3 チーム・団体女子 2 チームの全国切符を目指します。皆さんの記憶に新しい事と思いますが、あの東日本を襲った震災の影響で、去年は中止となっていました。その為、今大会に臨むどの選手の表情からも、大会出場への想いと意気込みを感じ取る事ができました。試合内容も、さすが各地区の激戦を勝ち上がってきた選手やチームですので技の切れやスピード・正確さ、どれをとっても素晴らしいものがありました。雑誌を賑わす「モンスター」と呼ばれる超一流選手の演武や組手試合では、超満員のスタンドから大きなどよめきが湧き、大観衆を唸らせていました。静岡県からは東海地区代表として御殿場西高校・常葉学園菊川高校・芥田学園高校(現 浜松修学舎高校)が 8 競技全てに出場、コートには静岡県松涛連盟出身選手の顔も見られ、静岡県の技術力を全国にアピールする事ができました。(レポート：広報部 秋山高士)



■第 43 回静岡県空手道連盟選手権大会■



4 月 29 日(日)に静岡県武道館で県連主催の「第 43 回静岡県空手道連盟選手権大会」が開催されました。秋の国民体育大会(国体)の予選を兼ねる本大会は、県連に所属する県内各道場より強豪選手が集い、成年(一般)の部と少年(主に高校生)の部が競技されます。また、毎年本大会と並行して「静岡県中学生空手道選手権大会」も開催され、夏の全国大会(全中)を目指します。静岡県全域よりエントリーがあり選手もたいへん多く、種目によっては 130 名を超える参加がありました。松涛連盟所属選手の活躍も随所で見られ、形・組手共に出場選手全員が好成績を挙げる事ができました。

■平成 24 年度静岡県高等学校総合体育大会空手道競技■



高校空手部のビッグイベント「インターハイ」の静岡県予選が 5 月 13 日(個人形)19 日(個人組手)20 日(団体組手)に静岡県武道館にて行われ、毎年夏に開催される全国大会の静岡県予選として、県内の全高校空手部が妙技を競いました。近年、県内各高校空手部の実力が拮抗してきており、形・組手共に初戦より白熱した試合が展開されました。形競技は 1 回戦を第 1 指定形、2 回戦は第 2 指定形を

得点方式にて演武、決勝トーナメント進出 8 名を決めます。決勝トーナメントは赤・青のフラッグ方式にて試合を進めるのですが、今年は全空連カデットのアジアチャンピオンも出場するという事もあり、選手をはじめスタンドの大観衆の目もコートに釘付けでした。組手競技では年々スピード化しており、突き・蹴りの変幻自在なコンビネーションは観る人を魅了していました。高校空手部の「華」と呼ばれる団体組手競技では相手のオーダーを限界まで読み切り、選手を組み替える戦略が醍醐味です。各高校、様々な策を練り、オーダーを組んで試合に臨んでおりました。本年度の激戦を制し夏の本戦に進んだのは、御殿場西高校・常葉学園菊川高校・浜松修学舎高校(旧芥田学園)となりました。今年のインターハイは新潟県新潟市東総合スポーツセンターにて開催です。(レポート：広報部 秋山高士)

...お知らせ...

7 月 28・29 日に「第 13 回全国空手道選手権大会」が開催されます。今回は、3 年ぶりに東京は国立代々木体育館での開催です。また、大会前週の 22 日には強化練習が開かれます。連日、高温多湿が続くコンディションの維持が厳しい季節ではありますが、日頃の稽古で鍛えた強い身体と精神で、大会を迎えてほしいと思います。夏の祭典、全国大会は目の前に迫っています。是非、選手の方には日頃の成果を存分に発揮していただけます事を心より願っております。